



報道関係者各位

2015年2月18日  
青森県立保健大学

## 第39回「飛び出せ!オープンカレッジ in あおもり」の開催について

### I. 目的・意義

「飛び出せ!オープンカレッジ in あおもり」は、18歳以上の知的障がいのある人を対象に、生涯学習の機会の提供と、学生との自然な交流を目的としている。名称の「飛び出せ!」には、いつもの世界から勇気を出して飛び出し、色々な人たちや新しいことを学ぶことによって、より生活を豊かにしてほしいという主催者の願いが込められている。知的障がいのある人たちが、分かりやすく学ぶことができ、かつ障がいのない同世代の人たちと交流ができる場合は、全国でもあまり実践例がなく、県内では本実践だけである。2002年からオープンカレッジが開始され、本学を会場とした実践は、2003年から継続的に行われている。

オープンカレッジでは、参加している知的障がいのある受講生すべての人が楽しく学ぶことができるように、ボランティアの学生が、学習のサポートをしている。6月と2月の年2回の生涯学習の機会のほか、4月の合浦公園のお花見会、8月のねぶた祭への参加、10月の大学祭への招待、12月にはクリスマス会と、学びの場だけではなく、学生との自然な形で交流ができるように工夫をしている。10年以上の実践の中で、知的障がいのある参加者は、学生との交流を通して、社会性や生活力が向上している。また、ボランティアの学生にとっても、在学時から知的障がいのある人たちと関わることによって、自然なサポートや関わりができるようになっている。

### II. 活動内容

講座は、受講生の要望を取り入れることを基本として、大学教育に準じたもの、日常生活に役立つもの、リフレッシュを兼ねたものをベースに組み立てている。また、近年では受講生の体力に差が出てきたことから、音楽や芸術などレクリエーション活動と、スポーツなどリフレッシュを目的とした選択科目を設定している。講座の講師には、本学の教員や地域の生涯学習の講師として活躍する人、本学サークルの学生等、様々な人たちの協力を得ながら実践をしている。

2月15日に開催したオープンカレッジでは、午前中の全体講義として手話サークルによる手話ソング、午後は、地域で親子サイエンス教室を開催されている伊藤光藏先生のマジックを楽しみながら科学を学ぶ「サイエンスマジック」と、弘前大学の本間正行先生による、バスケットボールの基礎から試合の楽しさまで学ぶことができる「バスケットボールの講座」が行われた。

### III. 効果など

オープンカレッジは1998年に大阪府立大学で開始された実践であるが、その際に、①知的障害者の教育を受ける権利の保障、②知的障害のある人の変化(社会性発達など)の保障、③大学の地域への貢献をオープンカレッジの目的として掲げた。本学の取り組みもまた、この3つに当てはまる。特に、三番目は、学びの場として大学が開放され、専門の学びを大学教員や専門家から受けることができることは、受講生が学習意欲を高めるだけではなく、講師やボランティアにとっても、知的障がいの人たちに対する理解を深めることにも繋がっている。最近では、継続して参加している受講生が、仲間を誘ってくることも増え、知的障がいのある人たちにとって、楽しい実践であることが実感できている。

期間：平成 27 年 2 月 15 日に開催

参加者：受講生 17 名 サポーター13名

場所：青森県立保健大学 A 棟 110,111、112 教室および体育館

問い合わせ\*\*\*\*\*

青森県立保健大学

〒030-8505 青森市浜館間瀬 58-1

TEL:017-765-2073

FAX:017-765-2073

担当：社会福祉学科 西村 愛

\*\*\*\*\*